

Ⅱ 教科・科目の構成

1 科目と科目数

本校総合学科の教育課程は教育内容の面から次のようにまとめられます。

(1) 教科数 18教科

国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・外国語・家庭・情報・工業・商業・家庭（専門）・体育・美術・英語・産業社会・総合
※他に、全員が履修する「総合的な探究の時間」があります。

(2) 延べ設置科目数：163科目

・各学科に共通する科目：82科目 ・主として専門学科において 開設される科目：81科目	・必履修科目：38～40単位
	・選択必修科目 ・全員が履修する科目：11単位 ・選択科目

(3) 総合学科で開設しなければならない各教科・科目の規定

「産業社会と人間」及び主として専門学科において開設される教科・科目を合わせて25単位以上

2 学習内容

総合学科では多様な教科・科目が開講されます。全学年とも総合学科になった平成13年度からは、多くの施設設備が完備され、これらを活用した実技・実習の授業が行われています。また、実験・実習、個別学習、グループ学習など多様で弾力的な学習方法を多く取り入れています。こうした授業では、生徒が主体的・能動的に行動し、さまざまな実践や体験を通して、課題解決に向けた取り組みを行っています。

(1) 必履修科目 計38～40単位

高等学校卒業を認定するうえにおいて、必ず履修しなければならない科目が学習指導要領に定められています。これらの科目は総合学科に限らず、すべての学科において必履修科目として定められたものです。

教科	必履修科目	単位数	履修年次
国語	現代の国語	2	1年次
	言語文化	2	1年次
地理歴史	歴史総合	2	1年次
	地理総合	2	3年次
公民	公共	2	2年次

数 学	数学 I	3	1 年次
理 科	化学基礎	2	1 年次
	物理基礎	※2	1 年次
	生物基礎	※2	2 年次
	地学基礎	※2	2 年次
	科学と人間生活	※2	2 年次
保健体育	体育	7	1～3 年次
	保健	2	1・2 年次
芸 術	音楽 I または美術 I または書道 I	2	1 年次
外 国 語	英語コミュニケーション I	3	1 年次
家 庭	家庭基礎	2	2 年次
情 報	情報 I	2	1 年次
総 合	総合的な探究の時間	1+2	2・3 年次

※理科は、〇〇基礎 3 科目 または 「科学と人間生活」と「化学基礎」を履修します。

※ 1 単位とは、授業を週あたり 1 時間、年間 35 週実施することをいいます。

(2) 必修科目以外で全員が履修する科目 計 1 1 単位

教 科	科 目 名	単位数	履修年次
国 語	論理国語	2+2	2・3 年次
外 国 語	論理・表現 I	2	1 年次
	英語コミュニケーション II	3	2 年次
産 業 社 会	産業社会と人間 (総合学科の原則履修科目)	2	1 年次

(3) 選択科目

選択科目の授業は、ユニットごとに全クラス同時展開で実施されます。各ユニットに開設される科目数はクラス数を越え、おおよそ 8～19 科目になります。生徒はその中の 1 つの科目を選択し受講しますので、1 講座の受講生の数が少なく、より一層の学習の個別化が図られ、きめ細やかな指導が行われます。少人数授業は、総合学科の大きな特色のひとつです。

1 年次：4 単位、2 年次：A～D 1 5 単位、3 年次：A～G 2 2 単位 … 計 4 1 単位

選択科目は、総合選択科目と自由選択科目に分けられます。

(ア) 総合選択科目

学習の一貫性を考慮して系列ごとにまとめた科目のことです。専門学科と異なり総合学科では、社会人として共通に必要な資質を身につけ、以後の「在り方生き方」を探究することを目指します。普通科目をはじめとして工業・商業・美術・英語などの多様な専門科目や学校設定教科・科目を全系列にわたって設定しています。

(イ) 自由選択科目の設定

特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりと多様な進路希望を考えたとき、系列に関係なく自由に選択できる科目が必要となります。生徒各人が自己の適性、興味・関心、進路希望等に基づいて選択する科目として自由選択科目が設定されています。3年次の選択Gがこれに当たります。

総合学科科目開講上の特記事項

- ア 生徒の希望状況により、同一科目複数展開の実施をします。
- イ 同一科目名の再履修はできません。(一部継続履修の科目を除く)
- ウ 教科内容や設備の台数による受講者の制限があります。また、科目によっては選択するときの条件がありますので、確認が必要となります。
- エ 各科目は、原則として希望者が少人数の場合、開講しない場合があります。
- オ 年次毎に選択科目について検討します。